



『しまの宝』

第12号 R2.9.24発行

文責：校長 日高 洋子

久賀島民ふれあい 運動会が開催！

9月20日（日）秋晴れの中、運動会が開催されました。地域の方がたくさん集まり、児童生徒も楽しい時間を過ごしました。4月からのコロナ感染防止対応や9月初めの大型台風の接近など、大変な状況の中、開催されましたので感動が大きかったです。特に、コロナ禍で様々な行事が中止、延期が相次ぐ中、運動会も縮小することが早くから決まりました。しかし、運動会が縮小されても、「発表内容の質は変わらず、これまで以上に！」を合い言葉に、子ども達は練習をよく頑張りました。走ることが苦手だった児童も、太鼓がうまくたたけなかった生徒も、毎日の練習によって、悔いのない運動会になったと思います。練習は、子ども達の成長の糧となり、次の挑戦の目標設定に役に立ちました。運動会の開催にあたり、開催関係の皆様には大変お世話になりました。また、多くの御厚志も頂戴し、ありがとうございました。

島外からも応援を しています！

今回の運動会開催に「島の外からも応援しています」のメッセージと共に、子ども達へ差し入れをいただいています。新型コロナウイルスの防止対策から、来島できないとして、以前久賀小学校に勤務されていた、太田美代先生（現在は長崎女子短期大学勤務中）、九州久賀島会事務局の野原義徳様からは、福岡銘菓をいただきました。

運動会終了後、一人ひとりに渡しています。遠く離れていても、久賀島や子ども達を応援していただいている方がおられること、感謝の気持ちの大切さを子ども達に伝えました。

しまの宝として、子ども達の成長を願い、心を寄せていただいた皆様に、職員一同、感謝申し上げます。ありがとうございました。

運動会のワンシーン



新型コロナウイルス感染症防止対策として、入場者に受け付けでの検温と消毒を実施しました。大変手間の掛かる作業でしたが、感染防止のため、皆さん快く応じていただきました。

また、応援のテントについてはいつものテントの数より、3張増やして、となりの人との距離を保つために、テント内に椅子を準備しました。約150脚の椅子を倉庫から運び出し、ぞうきんで拭き、テントに運ぶ。この作業を、数名の職員と小学生5名が全力で行いました。



開会式直前、地域の方が集まるまで、小中学生はしっかりと待ちました。このような姿も職員の指導のたまもので、大きな成長でもあります。緊張感を持って、開会を待つのは運動会の成功には欠かせないと思います。

運動会、子どもの姿

開会式での蒼士さんのあいさつはとても堂々として、立派でした。本番直前に変更した内容も、慌てずしっかり言えて、素晴らしかったです。



閉会式では、優樹さんが地域の方へのお礼と、みんなの頑張りをたたえてくれました。

2学期の活躍も楽しみです。



小学生の久賀エイサーは、一輪車やバランスボードも入って、見ごたえのある仕上がりでした。



中学生は、1学期からの練習の成果を十分に発揮し、6人で迫力のあるソーラン節と太鼓を披露しました。太鼓の演奏では卒業生の飛び入り演奏もあり、地域の方々とのふれあいができました。

地域の方との玉入れ競技では、数年ぶりに小中学生が勝利しました。たかが玉入れ、されど玉入れ・・・大いに盛り上がりました！

子ども達よりも、先生の方が気合い十分でした。

カゴを支えてくれた高校生も、少し、苦笑いでした。※その他の写真についてはHPに掲載されています。ご覧ください。



中学生の人権意識

12月10日の世界人権デーに合わせて、毎年五島市では中学生が人権についての思いを色紙に書き、人権標語で人権を守っていく姿勢を持つ、という活動が行われています。本校の中学生もそれぞれの、思いを書いてくれました。

- 一つになろう世界はきっと君をまっっている
白水 南帆
- 靴ひもをぎゅっと結んで踏み出そう
明日はきっとと思うより悪くない
一ノ瀬 彩
- 大丈夫、私はあなたのでてるてるぼうず
狩野 潤奈
- 気にするな、どんな時でも This is me
大櫛 優樹
- 人は色 十人十色それぞれちがう
私も君も
中野 紗菜
- 走り抜け、走り抜け、ホームランみたいに
バットで悪口 かつとばせ
蛭間壽之亮

色紙は12月の人権週間に様々な場所に掲示されます。機会がある方は久賀中の生徒の作品だけでなく、他校の生徒作品も、ぜひご覧ください。